

「隠れ蕎麦屋の里」しらたか 新そばキャンペーン

たくさんのご応募ありがとうございました

昨年11月から12月に町内の隠れ蕎麦屋4店舗にて開催した“新そばキャンペーン2015”には、昨年度を500通ほど上回る3,111通のご応募をいただき、誠にありがとうございます。

そば無料券や米沢牛、つや姫、あかすももワイン、漬物や町内銘菓など、総勢100名様に当たる特産品プレゼント当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

町内はもとより、遠方からも多くの方にお越しいただきました。今後もしらたかのそばをどうぞお楽しみください。

新そばキャンペーン集計結果より

▼応募地域割合

	応募数	割合
白鷹町内	410	13%
置賜 (町内除く)	708	23%
村山	849	27%
最上・庄内	85	3%
宮城県	455	15%
東北・新潟 (宮城除く)	301	10%
関東	253	8%
その他	50	2%
合計	3,111	100%

▼年齢割合

	全体	割合
0-10代	103	3%
20代	157	5%
30代	296	10%
40代	412	13%
50代	645	21%
60代	871	28%
70代	384	12%
80代以上	116	4%
不明	127	4%
合計	3,111	100%



▲イベント等の企画もしてみたいと意気込む遠藤さん

白鷹町で2人目となる「地域おこし協力隊」の隊員として、福島県白河市出身の遠藤真弓さんが、1月15日付で町長から委嘱されました。委嘱期間は最大3年間です。

小学校の中学年から神奈川県横浜市で育ったという遠藤さん。「以前から木や山に興味があり、田舎での生活にあこがれていた」と話し、「写真を撮ることも好きなので、季節を通して町のいろんな表情を切り取っていききたい」と目を輝かせました。

今後は、荒れた里山の再生や地域経済の活性化を目指す「しらたか木の駅プロジェクト」の事務所を拠点に、同プロジェクトや「最上川森の健康診断」などの事業支援を行っていく予定です。

「地域おこし協力隊」に遠藤真弓さんが着任

人権擁護委員の委嘱について

1月1日より、人権擁護委員として新たに嶋林淳子さんが法務大臣から委嘱されました。委嘱期間は3年間です。

【町の人権擁護委員】

高橋武夫さん(高玉)
芳賀健治郎さん(鮎貝)
嶋林淳子さん(荒砥) ※新任
鈴木和夫さん(十王)
鈴木成子さん(中山)
遠藤啓子さん(広野)

■問い合わせ 町民課くらし環境係
☎ 86-6131

これまでの活動に感謝状

12月で人権擁護委員を退任された蒲生成子さん(荒砥)に、法務大臣と町長より感謝状が贈られました。

